

# 感激で眠れませんでした

18期 <sup>いとう</sup>伊藤 <sup>ともこ</sup>倶子(旧姓 樅野)

初めの方と、18期、19期を急いで読みました。感激で眠れなくなりました。

日本が貧しかった時に、少年少女たちが勉学の志に燃えて、けなげに生きた歴史がそれぞれの文章にあふれ、先生方が教育者としてだけで

なく、生身の人間としてご指導して頂いたことなど、当時は日本が希望に燃えていた時期だったと。

今日の成熟時代に、若い人たちが生き難いと感じていることの不幸を思います。

寄稿者の方々が、現在は心身ともに満たされて、感謝していると穏やかな老境を過ごされている事にも、良かったなと同感しています。